名前（　　）　日付　　月　　日

地理 気候 季節風 海流

問 1　世界の気候帯と高山の気候

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　赤道付近に広がり、一年中気温が高い気候帯は何か。	
(2)　降水量が少なく、砂漠や草原が広がる気候帯は何か。	
(3)　熱帯と冷帯の間などに広がり、四季の変化が見られる気候帯は何か。	
(4)　北半球の高緯度地域に広がり、冬の寒さが厳しく長い気候帯は何か。	
(5)　極地などに広がり、寒さが厳しく、樹木が育たない気候帯は何か。	
(6)　低緯度でも標高が高いため、周囲の低地より気温が低くなる気候は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

赤道に近い地域でも、標高の高い場所では涼しくなるのはなぜか。気温と標高の関係を使って説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 気候 季節風 海流

問 2　世界の気候の特色

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　熱帯のうち、一年中雨が多く、常緑の森林が広がる気候は何か。	
(2)　熱帯のうち、雨季と乾季があり、草原に木々がまばらに生える気候は何か。	
(3)　乾燥帯のうち、雨が極めて少なく、植物がほとんど育たない気候は何か。	
(4)　乾燥帯のうち、砂漠よりは雨が多く、短い草の草原が広がる気候は何か。	
(5)　温帯のうち、夏は乾燥し、冬に比較的雨が多い気候は何か。	
(6)　西ヨーロッパなどで見られ、高緯度でも冬が比較的温和な気候は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

同じ熱帯でも、熱帯雨林気候とサバナ気候では植物の生え方が異なる。その理由を、雨の降り方に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 気候 季節風 海流

問 3　日本の六つの気候区分

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　冬の寒さが厳しく、梅雨の影響が小さい、北海道に見られる気候は何か。	
(2)　冬の季節風の影響で、冬に雪や雨が多くなる地域の気候は何か。	
(3)　夏に雨が多く、冬には晴れて乾燥する日が多い地域の気候は何か。	
(4)　長野県や山梨県の内陸部などで見られ、気温差が大きい気候は何か。	
(5)　中国山地と四国山地の間などで見られ、年間の降水量が少ない気候は何か。	
(6)　沖縄県などで見られ、冬も温暖で、年間を通して気温が高い気候は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

瀬戸内地方で年間の降水量が比較的少ない理由を、周囲の山地と季節風の関係から説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 気候 季節風 海流

問 4　季節風と季節ごとの天候

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　季節によって吹く向きが変わる風を何というか。	
(2)　初夏に前線が停滞し、曇りや雨の日が続く時期を何というか。	
(3)　熱帯の海上で発生し、日本に強い風や大雨をもたらす熱帯低気圧は何か。	
(4)　日本付近の上空で、一年を通して主に西から東へ吹く風は何か。	
(5)　夏に東北地方の太平洋側などに吹き、冷害の原因になる冷たい風は何か。	
(6)　山を越えた風が、風下側で高温で乾いた風になる現象は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

冬の日本海側に雪が多い理由を、季節風が日本海を渡って山地に達するまでの変化に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 気候 季節風 海流

問 5　日本の周りの海流

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　日本の太平洋側を南から北へ流れる暖流で、日本海流ともいう海流は何か。	
(2)　北海道や三陸沖へ北から流れる寒流で、千島海流ともいう海流は何か。	
(3)　対馬海峡を通り、日本海を北上する暖流は何か。	
(4)　日本海の大陸側の沿岸を、主に南へ流れる寒流は何か。	
(5)　周囲に比べて水温が高い海水の流れを、寒流に対して何というか。	
(6)　周囲に比べて水温が低い海水の流れを、暖流に対して何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

黒潮と親潮が出合う三陸沖などが好漁場となる理由を、魚のえさとなるプランクトンに着目して説明しなさい。

地理 気候 季節風 海流の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　世界の気候帯と高山の気候

(1) 熱帯　(2) 乾燥帯　(3) 温帯
(4) 冷帯　(5) 寒帯　(6) 高山気候

記述例　一般に標高が高くなるほど気温が下がるため、低緯度でも高地では周囲の低地より涼しくなる。

採点のポイント　標高が高くなるほど気温が下がることを説明している。

補足　高山気候は五つの気候帯とは別に扱う。冷帯は亜寒帯ともいう。

問 2　世界の気候の特色

(1) 熱帯雨林気候　(2) サバナ気候　(3) 砂漠気候
(4) ステップ気候　(5) 地中海性気候　(6) 西岸海洋性気候

記述例　熱帯雨林気候は一年中雨が多いが、サバナ気候には乾季があるため、育つ植物や森林の広がり方が異なる。

採点のポイント　一年中の多雨と乾季の有無を、植物の違いと結び付けている。

補足　気候は気温だけでなく、降水量や雨の降る季節にも着目して区別する。

問 3　日本の六つの気候区分

(1) 北海道の気候　(2) 日本海側の気候　(3) 太平洋側の気候
(4) 中央高地の気候　(5) 瀬戸内の気候　(6) 南西諸島の気候

記述例　夏の南寄りの季節風は四国山地、冬の北寄りの季節風は中国山地に遮られ、湿った風が届きにくいため。

採点のポイント　南北の山地に季節風が遮られることを、雨の少なさと結び付けている。

補足　北海道でも雨が続くことはある。「梅雨の影響が小さい」と覚える。

問 4　季節風と季節ごとの天候

(1) 季節風　(2) 梅雨　(3) 台風
(4) 偏西風　(5) やませ　(6) フェーン現象

記述例　大陸からの冷たい季節風が日本海で水蒸気を取り込み、山地に沿って上昇して雪雲が発達するため。

採点のポイント　日本海での水蒸気の補給と、山地での上昇を結び付けている。

補足　本州付近では、冬は主に北西、夏は主に南東から季節風が吹く。

問 5　日本の周りの海流

(1) 黒潮　(2) 親潮　(3) 対馬海流
(4) リマン海流　(5) 暖流　(6) 寒流

記述例　親潮が運ぶ栄養分によってプランクトンが育ちやすく、それをえさとする魚が集まるため。

採点のポイント　栄養分、プランクトン、魚の集まりやすさを結び付けている。

補足　対馬海流は対馬暖流ともいう。暖流と寒流が出合う境目を潮目という。